



新年明けまして
おめでとうございませす
余市町長
嶋 保

謹んで新春のお喜びを申し上げます。
希望に満ちた平成29年の新春を、皆様と共に健やかに迎えることができましたことを大変喜ばしく思っております。

町民の皆様には、日頃から町政に対するご理解、ご協力をいただき心からお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ゆるやかな景気回復はみられるものの、未だ足取りは鈍く、道内では台風などによる天候不順が続き、生鮮食品の高騰などもあり、景気の動向が懸念されますが、今後更なる景気対策等に期待するところがあります。

余市町では、農業において、台風などによる被害はなかったものの、春先の天候不順によりブドウや桜桃において前年を下回りましたが、リンゴやナシなどは概ね順調に推移を致しました。

水産業では、カレイやニシンの漁獲量が増えたものの、サケやエビなどの漁獲量が落ち込み、総体としては厳しい状況となりました。

また観光では、連続テレビ小説「マッサン」の放送から2年半が経過し、本町における観光客の入込も落ち着いてきておりますが、ドラマ放映前を大きく上回

る状況がまだ続いております。

平成30年度の余市I-Cの開通も見据え、今後も本町における歴史・文化・産業等のさらなる情報発信を進め、余市町を訪れる方々が、余市町に来て良かったと思える観光地づくりにより一層力を入れてまいらなければならないと考えています。

これからも、まちづくりの基礎となる「住み良く安心して暮らせるまちを創る」、「余市町の多様な資源・人的パワーを活かした元気なまちを創る」、「町民と行政が連携して歩むまちを創る」の三本の柱を政策の基本として、余市町人口ビジョンや、余市町まち・ひと・しごと創生総合戦略における施策を進め、余市町を将来にわたり「安心して暮らせるまち」、「元気なまち」にするため、職員と一丸となり余市町に生まれ育ち、住みやすさを実感していただけるような持続可能な地域社会づくりに向けて全力を尽くす決意であり、町民皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとつて、幸多き年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年明けまして
おめでとうございませす
余市町議会議員
中井 寿夫

希望に満ちた平成29年の新春を迎え、心からお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日ごろから議会活動に対する温かいご理解とご支援を賜り、町議会を代表し厚くお礼申し上げます。

顧みますと昨年は、北海道に3つの台風が次々と上陸し、さらに、集中豪雨に伴い住宅や農地への浸水被害、道路や鉄道の決壊や土砂災害、また、漁業被害も発生し、道内各地で甚大な被害をもたらした、減災社会の実現に向けた早急な対策が必要であると痛感したところであり、早期復旧を願いますと共に被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、国においては、一億総活躍社会の実現を目指し、希望を生み出す強い経済、夢をつむぐ子育て支援、安心につながる社会保障を新・3本の矢として取り組まれ、現在、多様な働き方を可能とし、成長と好循環を実現するよう「働き方改革」に取り組んでおりますが、我が国の構造的な問題である少子高齢化や強い経済実現等の諸課題が早期に解決されることを強く望んでいるところであります。また、一億総活躍社会を実現する上で、「まち・ひと・しごと創生法」に基

づき余市町まち・ひと・しごと創生総合

戦略が策定されており、移住・定住を促し若者を中心とした雇用の確保など各種施策を推進しております。本町は「マッサン」放映により全国的に知名度が上昇したことやワインブドウ収穫量では全国で最上位に位置し、ワイン特区を活用した事業展開がされており、さらには平成30年度に北海道横断自動車道余市I-C供用開始が予定されており札幌への所要時間の短縮により町内の事業者におきましては流通機能の向上で販路の拡大や取引規模の拡大、観光客等の交流人口の増加を期待しているところであります。

地方分権の進展により地方議会の役割は益々重要となつていの中で、私共議会は、行政の諸課題の解決に向けて積極的に取り組んでおりますが、今後も町民の代表として議員一同全力を挙げてその責務を全うしていく所存でありますので、尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が町民の皆様にとりまして、健やかで幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。